

令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育総合推進地域事業>

都道府県・
指定都市名

山口県

地域名

萩市・旭中学校区

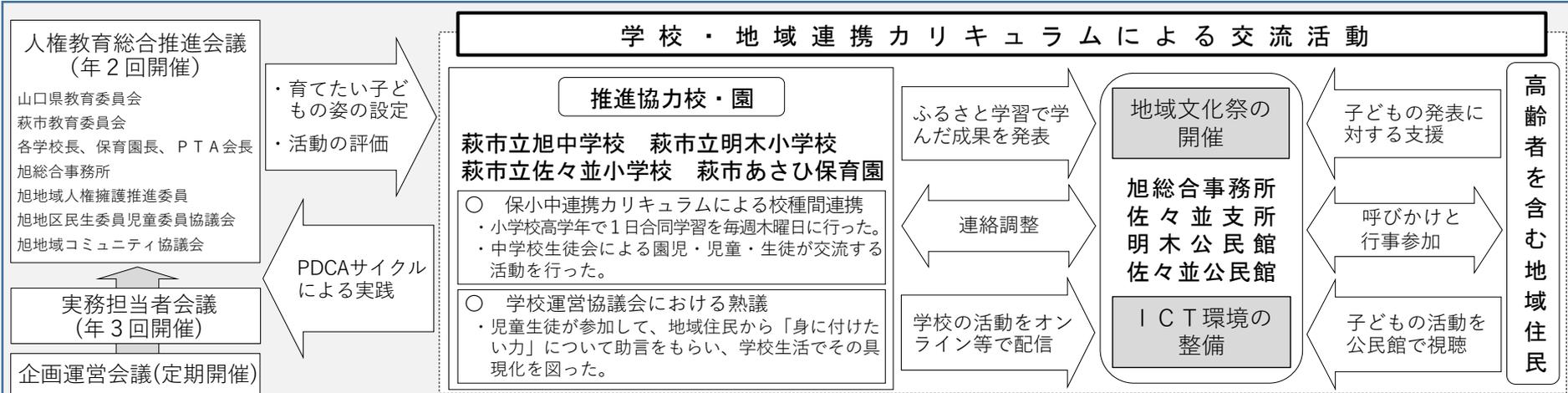
人権課題

高齢者問題、インターネットによる人権侵害等

目標・人権教育
のねらい

- 子どもと高齢者を含む地域住民との交流を通して、ふるさとを大切にすることを醸成する。
- 学校・地域連携カリキュラムに基づいた多様な他者との関わりにより、自己肯定感や自他の人権を大切にしようとする意識の向上を図る。

各組織の動き・役割等



校種間連携の
概要

保小中連携カリキュラムを基に、育ち・学びにおける共通実践項目に取り組むこととし、年間を通してICTを活用したオンラインによる交流授業や小学校2校による週1回の1日合同学習を行った。1日合同学習では、保育園児や中学生、中学校教員との交流も図った。こうした取組により、園児・児童・生徒が互いを理解しようとする温かな関係の醸成とともに、校種間の滑らかな接続につながった。

地域・関係機関
との連携の概要

学校・地域連携カリキュラムを基に、子どもと高齢者の交流活動を継続して行った。また、秋の文化祭では、公民館職員が中心となり、推進協力校と連携しながら子どもと高齢者を含む地域住民が交流できるように仕組んだ。ここでは、子どもが地域の方から学んだことを劇や定点ガイド等で発表し、地域の方から「学校と関わる機会がなかったが子どもの声を聞くと元気が出た。」「地域の伝統を立派に引き継いでくれてよかった。」という感想を得た。

事業成果

- 児童生徒を対象としたアンケート結果(1学期末と2学期末の比較)から次の変容が見られた。(4段階評価の平均値)
- ・知識的側面「人の話を聞くときに、その人の考えや気持ちを考えることが大切である」 3.1 → 3.2
- ・技能的側面「自分の考えや気持ちを、相手にわかりやすく伝えようとしている」 2.8 → 3.3
- ・価値・態度的側面「地域に関わる学習や行事をとおして、ふるさと旭を大切に思う気持ちが深まった」 3.1 → 3.3